



愛知大学同窓会

Vol.14

愛知大学同窓会
春日井支部
春日井支部の
ホームページ
www.aidai-kasugai.info

支部長挨拶



愛知大学同窓会
春日井支部 支部長
伊藤 弘

会員の皆様におかれましては、コロナ禍の中で如何お過ごしでしょうか。

今年の冬、世界を巡る豪華客船が横浜港に入り、新型コロナウイルスに罹った乗船客の対応に追われて以来、予想だにできなかった拡大が日本はおろか世界中に蔓延し、その後の社会活動への混乱によるオリンピックの延期、多くの方々の罹患が一波二波と波のように押し寄せ、今もその状況が続いている状況下にあります。大学同窓会においても各種行事等の開催中止を余儀なくされ、活動停止に陥ってしまい、未だその先が定まらず、コロナワクチンの接種など早期の収束が希求されているところですが、我々春日井支部においても、諸事業の活動を見合わせざるを得ない状況であります。

さて、こうした中であっても、明るい話題として、名古屋キャンパスの竣工を記念して制作されたモニュメント「愛の塔」についてご紹介させて頂きます。



「愛の塔」

これは、大先輩平松礼二画伯の手によるもので、高さは4mに及び三角形の三面体で愛知大学のAを表現し、三面はそれぞれ日本の富士山と愛知の地形を配した「あいの郷」、アルプスの一滴の雫から濃尾平野を潤す木曾三川を描いた「あいの山河」、そしてこの場に集う若者と飛翔する平和のシンボル鳩を描いた「あいの人々」が表現されると共に、この三面体は大学、同窓会、後援会の「三位一体」の理念が掲げられ永遠の大学発展が希求され、画伯の深い思いが表現されており、是非とも高覧頂きますよう紙面を借りてご案内申し上げます。

結びになりますが、コロナ禍の一刻も早い収束により世の中の安寧が戻り、日々の社会経済活動が持続的に発展できるよう期待すると同時に会員各位のご健勝とご活躍を心より願ひ挨拶とさせて頂いたでございます。

事務局長挨拶

大橋弘明(昭和62年卒経営)

会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。世の中は、新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナウイルス」と略)により、これまで誰も経験したことがない世界的な拡大という事態で、我が国でも、この原稿寄稿時の4月中旬においては、新型コロナ第4波に突入したとの見解が示され、未だ先の見えない状況下におかれています。

さて、本支部におきましても、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、総会が書面開催となったことを始め、予定していた各種事業が中止を強いられることとなりました。本年令和3年度につきましても、縮小・中止など昨年同様の対応を取らざるを得ない状況が想定されますので、皆様方のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

世界を見ますと、ワクチン接種が進み感染者数が激減している国もいくつか出てまいりました。我が国でも先日、「本年9月までに国民全体に必要なワクチンの供給の目途が立った」との首相報道がありましたので、新年度には、かつてあった日常が取り戻せていることを心から期待いたしますとともに、会員の皆様におかれましては、くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

